

平成 22 年度新宿区外部評価委員会第 3 部会 第 3 回会議要旨

<出席者>

外部評価委員（5名）

名和田部会長（副会長）、入江委員、富井委員、芳賀委員、渡辺委員
事務局（3名）

木内行政管理課長、大竹主査、担当 1 名

<開催日>

平成 22 年 7 月 9 日（金）

<場所>

区役所本庁舎 6 階 第 3 委員会室

<開会>

1 計画事業評価対象の抽出とヒアリング対象・ヒアリング項目について

【部会長】

今日は、計画事業について評価対象を抽出し、ヒアリング対象・ヒアリング項目について議論をするということでもあります。

まずは計画事業の抽出、どれを評価対象にしたいかということについて議論をするということですね。この点はまずいかがでしょうか。項目数としてはあまり多くないので、全部やるということも可能なのだらうと思います。

【委員】

全体会の前回の会議で、平成22年度の評価方針についての確認という中では、今年は全部の計画事業は評価しないとしましたね。だから、必ずしも全部する必要はない、でも全部してももちろん構わない、こういうことです。

【部会長】

個別目標を評価するために何が必要になるかということ、結局全部一通り話を聞くということが必要になると思いましたが、そこは結局、濃淡をつけてということになりますか。このイメージについて確認をしたいと思います。

【委員】

個別目標2番、「コミュニティの活性化と地域自治を推進する」という個別目標を検討の対象にしたかどうかというふうに考えたのですが、この個別目標にする意味の一つには、個別目標の中には経常事業もぶら下がっているのですね。経常事業は本来対象にする必要はないのですが、ヒアリングは構わない。そして、これはぜひ聞きたいという意味で、そのためには個別

目標で聞きたい。町会・自治会及び地区協議会活動への支援ということについては、前年度の答申に対する区の返事が、こっちから言ったことと返事にかなりずれが感じられるので、改めてそれを聞いて議論したいという思いもありました。

【委員】

今のご意見に賛成です。個別目標の2のところ、特に現在の町会の現状に対して認識にずれがあるのではないかと思うのですね。基本計画の中には「都市型コミュニティの醸成」という言葉が入っています。何となくわかるのですが、具体的に考えている「都市型コミュニティ」というのはどういうものなのか。担当の方たちがどう考えていらっしゃるのか。活性化の度合いを町会への加入率で図るといって、それを指標にするとはいっていますが、現在加入率が落ちてきているのは、社会情勢とか、一般の人たちの要望とずれているからで、これからますます単身世帯が増えていくと言われていています。そうすると、加入率は下がることはあっても、上がることはないと思うのですね。こういうものを指標に置くということ自体が納得いかないのです。

そこがはっきりしませんが、助成をどうするかということも議論できませんし、区長の総合判断の中に「新たな財政支援制度への移行」というようなことが書いてありますけれども、これは一体どういうことを指しているのか。この部分についてはぜひお話をうかがいたいと思います。

【部会長】

中身の議論をここでする必要はないと思いますが、結論としてどうですか。個別目標を一つの軸にして、計画事業としては全部対象にするというイメージですか。

濃淡とさっき言いましたが、これはつくるかつくらないかという中身の問題はあろうと思うけれども、もし個別目標の評価をするということであれば、様子を聞けばいい程度ではないか。それに対して、町会・自治会や地区協議会に対する基本的な姿勢ということはかなり聞かなければならないということになります。

【委員】

一つは、各計画事業に対して数も少ない。読んでみると、改善すべきというところが、うまくいきました、反対にうまくいってましたというのが改善すべきになっていたり、とかいうことがあるので、計画事業についてはそういう点をポイントに置いて、さっと全部やったほうがいいのかという気がします。

そういう中で所管の部が個別目標に対してどう考えているのかということで、その辺を個別目標全部やる必要はないと思います。その中で2つぐらい選んで個別目標の評価をやる。できれば、I-2と、商店街関係のVIの3、商店街活性化推進という、この辺をやっていくと、補助事業の評価から漏れた商店街関係でも、この計画事業の枝事業と考えてやれば評価ができる。そういう感じでやりたいなと思います。

【部会長】

委員がおっしゃったのは個別目標も全部はやらなくていいのじゃないかということですか。

【委員】

塊で取り上げていくというふうに。

【委員】

去年は、83番「歌舞伎町地区のまちづくり推進」はこの部会でやりましたね。今度は第1部会になっていますが、個別目標3の「ひと、まち、文化の交流が創るふれあいのあるまち」をこの部会がやるとすると、その中にある83番は第1部会がやるというので、ちょっとここが入れ子になっちゃって問題はないのですか。

【事務局】

今年、補助事業を第1部会に持っていった関係で、計画事業もあわせて見ていってもらったほうが効率がいいだろうというところから、その部分だけ第1部会に持っていったという経緯がございます。

【部会長】

個別目標を軸にヒアリングをしていくのだったら、VIの3の個別目標をヒアリングするとき、83番の「歌舞伎町地区のまちづくり推進」を見てもいいのではないですか。

【事務局】

第1部会でもこの部分は結構今取り上げておまして、ヒアリングもしくは視察もしたいという話が出ています。

【委員】

似たような目的のものが、片方では計画事業であって、それと同じような関係で経常事業がある。そして、また別なところに補助事業があって、商店街に対する支援というのがいくつもの事業に分かれている実態がなかなかわかりにくい。だから、いわゆる個別の事業または基本施策の段階で束ねて、そこに入っている計画事業及び経常事業、ついでに補助事業というのを、全体を把握したほうがいいのではないかという考えです。

【委員】

以前から個別目標単位で見ていくというときに、どうしても計画事業から見てそれを総合したときに個別目標としてどうなるかを見たいと考えていましたので、個別目標を見るのであれば、そこに含まれる計画事業をすべて見た上で総合的に判断したいと思います。

そういう点では、個別目標全部取り上げるのであれば、計画事業も全部取り上げる形になるでしょうし、限られた個別目標を見ていく場合にはそこに含まれる計画事業または経常事業までも気になる部分があればそういうのを一緒に見ていく過程になると思います。しかし、各個別目標が入っている今の基本目標VIの3のところ、これに関してはちょっと範囲が大きく、商店街の問題もありますし、平和啓発事業、外国人、そういう意味で、去年は外国人のことも一生懸命考えたと思うのですけれども、それらをすべて見た上で個別目標について判断をするというのは、作業が大きいなという気はしています。

【部会長】

個別目標を評価するという姿勢に立つと、基本姿勢としては、各個別目標を構成している計

画事業か判断を練り上げていくというようなイメージを私も思いました。ただ、その場合、83番を抜かしてやってもいいかなという気はします。

「歌舞伎町地区のまちづくり推進」というのは「新しい文化と観光・産業の創造・連携・発信」という基本施策の中に入っているのだけど、もう一つ82番「新宿の魅力の発信」も入っています。82番は同じく地域文化部なので、話は聞けると思います。

結局、個別目標について全部するかどうか、補助事業のヒアリングとの関係だと関連のあるものばかりなので、どれか個別目標や計画事業を落とすということはしにくいように思います。

【委員】

例えば基本目標VI『多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさを」を創造していくまち』の中の計画事業「文化・歴史資源の整備・活用」、「文化創造産業の誘致」等、去年はこの辺は割とヒアリングには呼ばずに資料を読み込むことで何らか意見を出した扱だったかと思えます。それで良かったのかなというのもあります。そして、今年またそういうところをあまり検討しないままとなると、今年4年、5年目で総合的にいろいろなことをまとめなければいけない年なのかなと思ったときには、こういう手薄なところが生じてしまっているのだろうかという思いがあります。けれども、例えば補助事業に絡めて先にヒアリングし、また、違う観点でこの計画事業のヒアリングのときに去年もあまりお聞きできなかった部分をお聞きすると、対象となる課の方は2回来ていただくことになる。

【委員】

地域文化部がほとんど全部ですね。いわゆる地域の問題と文化の問題というくくりで、地域の問題というのはいわゆるコミュニティ、多文化共生、それからあと今一生懸命やっている自治基本条例ですね。そういうような観点中で1つやる。それから文化というのは、今年「新宿区文化芸術振興基本条例」というのをつくりましたね。そういう文化条例をつくり、文化をより発信していきたいという新宿区の思いをどう評価するのかと。もう一つは国際的、多国籍な区という意味での多文化共生という部分をどう評価していくか。そういうような点で考えると全部やらないとですね。しかし、計画事業を見ながらそういうところにポイントを置いて全体を評価していくという考え方もあるかと思えます。

【委員】

地域調整課等に重点が置かれたヒアリングを今回やるとしたら、計画事業の方でお呼びするのはそのときに網羅できなかったところをやっていったらどうかなと思いました。

【部会長】

そうすると、今のところ、何を対象にするかということといつヒアリングをするかという問題とに分けられると思います。

今の皆さんのイメージを聞いていると、第3部会に割り当てられている計画事業については一通りすべて対象にし、基本的には個別目標を軸にしながらかや濃淡をつけていくというようなお考えのように見えますが、それでいいでしょうか。

83番の第1部会担当になっているものにつきましては、これは除くということでもいいですか。

補助事業のヒアリングに来ていただいたときに、計画事業のヒアリングとしてはやや濃淡の淡のほうに当たるものについて、一緒に聞いてしまう。多分そんなようなことをしないと間に合わないのではないかというご意見だったと思います。

そうすると、やっぱり補助事業のヒアリングのときに、可能であれば少し計画事業について話してもらいたいなことをせざるを得ないでしょうかね。

【事務局】

計画事業で補助事業と関連しているのは、3番と4番と、あと81番と84番のこの4つだけで、他は経常事業の扱いになっているのです。

【部会長】

地域支援関係は、皆さんの関心も大きいし、かつ補助事業と計画事業で重なっていて、かなり関連もしている。これは一度に聞いてもいいのかなという感じがしますね。もう一つは商店街振興に係わることですね。もしそのように関連していて、一緒に補助事業と計画事業とまとめて効率化できるのではないかというご意見がありましたら、どうぞお願いします。

他にヒアリング対象の抽出の仕方とか、あるいはヒアリングの日程、やり方等々についてご意見がありますか。

<日程調整>

7月16日と23日は補助事業のヒアリングを行い、計画事業のヒアリングにつきましては、内部評価を見て質問項目を準備した上で、8月25日と27日の両日にわたって担当課からヒアリングを行うということになります。よろしいでしょうか。

視察に行きたいところはでしょうか。

【委員】

ミニ博物館ってどういうところでしょう。

【部会長】

自分の目で確かめたいという気がしますね。他にいかがでしょうか。

これは計画事業のとか補助事業のとか、そういう限定はないですか。

【事務局】

もし合わせてその視察の後にヒアリングをされるのであれば、計画事業に合わせてということになるでしょうし、個別目標の観点から視察するというだけであればどちらでも大丈夫だと思いますけれども。

【委員】

それともう一つは空き店舗を活用している例をちょっと見たい。活用しているところがありますよね。

【事務局】

実績はあります。補助事業のほうで実績報告書が出ているので、多分そこではないかと思わ

れるところがあります。

【委員】

かなりこの補助事業で問題が大きいのは、公衆浴場の関連なんだけれども。

【部会長】

うまくコースを組んでいただいて、1カ所で20分でもいいと思うのですよ。本当に20分でもかなり様子がよくわかる。ミニ博物館と公衆浴場と空き店舗、何とかうまくコースを考えて3つ行けないですか。

空き店舗活用といっても、全国で語られているようなのと意味が違うのもあるのじゃないか。放っておいても埋まるにもかかわらず、空き店舗活用事業をわざわざ打つことにどういう意味があったのかということはいいたいですね。少なくとも他の商店街空き店舗活用事業には見られない新宿らしい姿かもしれないですね。シャッター街じゃないけど、やっているという、それでどういう効果があるのか見たいですよ。

【委員】

7月30日にヒアリングの結果取りまとめとありましたけど、その後8月3日に公衆浴場を見に行くよりは先に見に行つて3日に取りまとめのほうが、補助事業としてのまとまりが……。

【部会長】

確かにそうですね。30日も午前だけなので、どちらにしても行きたいところを全部行けるわけじゃないという気はします。

今言った3つぐらいを視察先として調整をよろしくお願いします。

それではこれで終了したいと思います。どうもありがとうございました。

<閉会>